

タイトル『2.43 清陰高校男子バレー部』

著者：壁井ユカコ

出版社：集英社

「転校生が来る」

田舎のとある学校に東京から来た転校生は、黒羽裕仁の幼なじみの「チカ」として灰島公誓だった。

だが、幼い頃の可愛らしい「チカ」ではなく無口で無妄想な「灰島」に豹変していく。

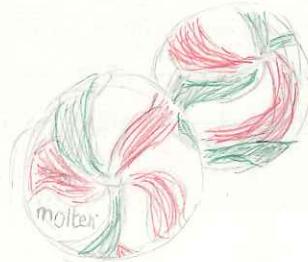
そんな灰島が唯一興味があるのはバレーボール。

ほとんど機能していないバレー部で、独りで練習している灰島を見て心を動かされた黒羽は、一緒に練習を始める。

そのうちに部員が参加し始めて初の公式戦を迎えるが、それがきっかけとなり灰島と黒羽は仲良くなりてしまう。

そのまま2人は清陰高校へ入学するが、バレー部に入ったのは黒羽1人だった。しかし球技大会でバレー部主将、小田に気に入られ、やはりバレーが好きだとバレー部に入るが……。

涙と汗の青春物語。



バレーボ

通じて分から合う、

心とい心。

それからどんどん広がって、

チームになって
へーんだった……。

投稿日 2016年3月16日

ペンネーム

極夜@審神者

年齢

14歳